

そろそろ冬支度! 「絶対ダブらない」アイアンの打ち方

平成24年1月21日発行
(11月21日発売・毎月21日発行)
昭和37年2月15日第3種郵便物認可
第52巻第1号

GOLF

サンムン登場!
新しいフェードの
打ち方教えるよ!

DEST

ヘッド速度
42%で実験

GOLF
NEW
BASIC

特別
付録

ロボット君が教えてくれた

最新ボールの 「飛び」と「スピン」

1

2012

バットが苦手な人へ!
「コッソリ」と打つと
不思議と入る

本当はどこなの?
シングル100人の
スウィング「軸」

取り外しOK 保存版

“ここから2打”で
上がりたい!

**最強のウェッジ
セッティング
「50・54・58」**

SWは角溝チューンで
スピン倍増!

フェアウェイバンカー
打ち方がわかれば
「ラフ」より簡単!

なぜ当たらない?
「打ち上げ」のドライバー

枯れ芝シーズン
到来です

本気で70台!
基本の「ここだけ」
もう一度

絶対ダブらない アイアン!

今のうちに
インドファースト
のインパクト

目指せ!
サラリーマン
シングル



読者専用モバイルサイト
今月のレッスン
アーカイブは
「片山晋呉」です

TEMPER
Gold XP

Dynamic
Gold
XP

ダイナミックゴールドの特性はそのままに、
程よい重さと球の上がりやすさを実現。

GOLF
DIGEST
AD



こんなスチールシャフトが欲しかった! 重すぎず、軽すぎない 『ダイナミックゴールドXP』登場。

撮影/阿部 了
協力/総成カントリー倶楽部

DGの打ち味を受け継ぐ
中軽量の本格派

誰もが認めるスチールシャフトの「ザ・スタンダード」『ダイナミックゴールド』(以下DG)が発売されたのは1980年。以来、このシャフトの持つ確かなコントロール性や弾道の安定感、優れたフィードバックは世界中のプロや上級者を虜にしていた。

だが、アベレージ層を含めたもう少し非力なゴルファーにとってDGは重く、なおかつ球が上がりにくいというのも事実。そんなゴルファーの多くは90g台の軽量タイプを使用するのだが、今度は「ちよつと軽すぎる」「頼りない」といった不満が生まれてくる。

そこでトゥルーテンパーが開発したのが『ダイナミックゴールドXP』だ。重量はDGと軽量タイプの中間、100g(110g(カット後))という中軽量と呼べるスチールシャフトだ。

ステップ位置やフィードバック、コントロール性、弾道の安定感、DGそのもの。それでいて、軽すぎず重すぎず。さらにキックポイントを中調子にすることで、球の打ち出しがDGより高くなっているのが特徴だ。

シニアプロからトップアマ、アベレージクラスまで多くのゴルファーにとって適度な重量で、球が上がりやすく、なおかつDGの打ち味をそのまま受け継いだ『ダイナミックゴールドXP』。多くのゴルファーが待ち望んでいたスチールシャフトの登場だ。



「適度な重量と上がりやすさはスウィングにも好影響」と小池プロ

待望の重量帯×信頼の性能。 プロもアマも納得の『XP』

Tester / 小池 丈晴プロ 「小達 敏昭銀座ゴルフクリニック」インストラクター。HS50m/s
野村 一徳さん 積極的に競技に参加するアスリート。HC7、5Iの飛距離180Y

小池 ゴルフを始めてからずっとDGを愛用。コントロール性や打感で、僕にとってこれに勝るシャフトはありません。

野村 私もDGの愛用者です。以前は軽量スチールを使っていたのですが、上がりすぎて風にならなったり距離がバラついたり、安定感に欠けていた。それでDGに替えたのですが、さすがに5番くらいになるとしんどいんです。

小池 確かに多くのアマチュアにとってDGは重し、球が上がりづらい。だからといって、軽すぎるシャフトだと手打ちになつてしまうというデメリットもある。



小池 それでいて、僕が好きなDGのフィーリングやコントロール性はそのまま。軽量タイプにありがちな頼りなさもない。中調子だから球が上がりやすいけど、先調子のように先端が走りすぎないので安定感もありま

上がってくるし。

野村 自分のパワーやヘッドスピードにあつた重さのシャフトを使うことが大切ということですね。その点、この『XP』は私にぴったりの重量帯と感じました。これまで重いか軽いかの選択肢しかありませんでしたから。無理せずに振れて球も楽に上がってくるし。



アマの野村さんは「コースで打つとより良さを実感できました」

野村 長い番手で薄めに当つても、シャフトが球を上げてくれる。5番アイアンがいつもよりずっとやさしく感じました。DGと軽量タイプのいいところ取りというか、自分にはメリットしか感じられませんでした。

小池 そうですね、僕も使つてもいいかなと思つたほどです。実際、アペレージクラスのアマチュアからキャリアのあるシングルさん、シニアプロまで幅広く使えるシャフトですね。「DGだとちょっと」と思う人は、90g台の軽量タイプに手を出す前に、ぜひ『XP』を試してみることをお勧めします。



ダイナミックゴールドシリーズの軽量タイプ「SL」(100g以下、左)より約10g重い「XP」。「DG」(右)と「SL」の中間の重量帯は多くのゴルファーが待ち望んでいた

ダイナミックゴールドシリーズ シャフト特性比較

シャフト名	硬度	重量(カット後、g)	キックポイント	弾道	対象ゴルファー	適応ヘッドスピード(m/s)
ダイナミック ゴールド	X100	119				48以上
	S300	119	元調子	低弾道	中・上級者	43~47
	R300	115				40~42
ダイナミック ゴールド XP	X100	110				46~
	S300	105	中調子	中弾道	初~上級者	41~45
	R300	100				38~40
ダイナミック ゴールド SL	X100	100				48以上
	S300	98	元調子	低弾道	中・上級者	43~47
	R300	97				40~42



TRUE
Dynam